

令和6年度 事業報告

我が国経済は、一部に足踏みが残るものの緩やかな回復が続いているが、物価上昇や米国の政策動向等の影響により下振れリスクを抱えている。

バス事業は、3年にわたるコロナ禍の後、運転者数の減少が顕在化したことに加え、昨年4月の働き方改革として拘束時間の縮減が行われたことにより、一層人手不足が深刻化したことであり、路線バスの便数削減や路線廃止、貸切バスの受注制限などの影響が顕著に現れた。輸送人員は乗合バス事業、貸切バス事業ともコロナ禍前には戻らず、燃料価格をはじめ物価の上昇によりバス事業の経営は依然として厳しい状況が続いた。そういう状況下において、貸切バス事業に関しては、令和5年秋に改定された公示運賃の実施等により、一定の収支の改善が図られた。

このような状況を踏まえ、福井県バス協会は行政機関の幹部との懇談会等を通じ、県下のバス事業の現況並びに課題等への理解を深め、積極的な支援を要請するとともに、具体的要望事項を取りまとめ、10月に福井県に対しバス路線の維持のための支援強化などについて要請を行い、路線維持対策としての予算措置が図られた。

さらに、バス事業にとって最重要課題である安全確保の取組について、会員各社とともに業界が一丸となって取組を進めるとともに、昨年4月から施行された貸切バス事業に対する運行管理の規制強化に関しても確実な実施に努めた。

具体的な事業についての報告は以下のとおりである。

1. バス事業の経営の健全化への対応

(1) 乗合バス路線の維持、再編と輸送サービスの改善向上

乗合バス路線の維持等については、各地域での法定協議会の枠組みで取組が進められていることから、福井県及び県下15自治体の法定協議会に参画し、各地域での公共交通網の維持形成に関する取組の中で、厳しい経営環境下での事業展開に関する理解が深まるよう取組を進めるとともに、必要な支援要望を関係機関に働きかけた。

● 国等への要望活動

令和6年7月26日(金) 公明党政策要望懇談会における要望

運転者不足への対応強化に向けた制度設計。乗合バス路線の維持に必要な額の補助並びに貸切バス事業者が実感できる需要喚起策、教育旅行の分散化への働きかけの4項目を要望した。

令和6年10月17日(金) 福井県知事への要望書提出

生活交通ネットワークの維持確保を最重要課題とした所要の予算確保をはじめ、必要な予算措置等7項目の要望を提出し、一部の要望内容に関して令和7年度予算に反映され補助等の拡充が図られた。

令和6年10月29日(火) 中部運輸局長との懇談会における要望

県下のバス事業の現況及び課題等を報告し、国における指導並びに支援の強化を要請した。

令和6年11月6日(水) バス危機突破 総決起大会での決議参加

全国のバス業界関係者約300名とバス議連を中心とした60名の自民党国会議員並びに国土交通省幹部が出席する総決起大会に参加し、路線の維持や人手不足、自動運転などの各種対策を求める4項目を決議した。

● 道路管理者への要望活動

令和6年7月19日(金) 福井県道路利用者会議

9ヶ所の渋滞箇所改善要望を提出。

令和7年3月18日(火) 道路管理者(国・県)と自動車業界との懇談会

国道365号線の北山バス停からしづき台バス停間の道路拡幅要望並びに三国東尋坊芦原線(県道7号)の亀裂修復に関する要望を提出。

(2) 貸切バス事業の安全性確保と健全な経営基盤の確立

① 軽井沢スキーバス事故等を受けての安全対策の推進

事故防止員会等を捉え、軽井沢スキーバス事故対策検討委員会の答申「安全・安心な貸切バスの運行を実現するための総合的な対策」に基づき強化された安全規制の対策を引き続き着実に進めるとともに、令和6年4月から施行された点呼の動画記録等、運行管理等の規制強化を確実に対応するなど、安全対策を推進した。

また、中部貸切バス適正化センターが行う巡回指導を通じ、事業の適正化が進むよう、会員事業所の負担金の一部を助成するなど必要な措置を講じた。

② 貸切バス事業者安全性評価認定制度の推進

貸切バス事業者安全性評価制度の適切な運用を行うため、会員事業者の所得・更新に必要な支援を行った。結果、令和6年度、21事業者が更新し、令和7年3月31日現在、三ツ星認定18事業者、二ツ星認定4事業者、一ツ星認定14事業者となった。

また、貸切バス事業者安全性評価認定制度の厳格化が実施されることに伴い、円滑な新たな認定制度への移行に向け必要な周知を行い、貸切バス事業者の安全対策の向上に向け取り組んだ。

③ 旅行業界との連携

旅行業界と連携して設置した「旅行業界とバス業界の連携による安全運行パートナーシップ等に関する懇談会」を令和6年10月7日(月)に開催し、旅行業者と貸切バス事業者との手数料等の取引に関する内容及び、学校教育旅行の分散化に関する内容をテーマに意見交換を行い、運送引受書への安全コストを割り込んでいない旨の表記を徹底することと、学校教育旅行の分散化に向け、双方が連携した働きかけを確認し、先ずは、バス協会単独にて分散化に向けた関係機関への要望を行うこととした。

● 分散化に向けた要望活動

令和6年10月11日(金) 福井県小学校校長会、福井県中学校校長会

令和6年10月17日(木) 福井県教育委員会教育長

深刻な運転者不足を背景に、貸切バスの手配が困難な状況となってきたことを踏まえ、繁忙期を避けた実施時期や手配しやすい曜日への分散化の要望書を提出した。

④ その他健全な経営基盤の確立

燃料価格の高騰が続く厳しい経営環境化を踏まえ、福井県への支援要請を続けてきたことから、福井県において当初予算及び6月補正並びに9月補正にて、貸切バスへの燃料高騰対策としての支援措置が予算化(1,250円/1両)されたことから、会員各社の補助金申請(4月～12月分並びに1月～3月分の2回)を協会にて取りまとめ県へ提出した。

(3) 運転者の確保対策と働き方改革の実現について

昨今の運転者不足はバス事業の存続自体を脅かす深刻な課題となっていることを踏まえ、一昨年に保有した運転体験車両を有効に活用し、運転体験会も開催などの取組を積極的に展開した。

また、働き方改革に関しては、令和6年4月の時間外労働の上限規制の適用並びに拘束時間の変更を柱とする改善基準告示の改正内容の徹底に向け、福井労働局と連携した説明会を敦賀市のプラザ萬象(令和6年9月26日(木))、福井市の国際交流会館(令和6年10月3日(木))にて開催した。

● 人材確保のための取組活動

「バス業界説明会」並びに「職業(バス運転士)説明会」

令和6年5月17日(金) 市民プラザ武生(越前市)

令和6年5月27日(月) ハローワーク福井(福井市)

令和6年7月26日(金) 鯖江駐屯地(鯖江市)

「運転体験・会社(企業)説明会」

令和6年6月9日(日) 福井運輸支局構内及び福井県自動車会館(福井市)

令和6年7月21日(日) 北陸自動車学校(福井市)

令和6年10月27日(日) 福井運輸支局構内及び福井県自動車会館(福井市)

「会社(企業)説明会」

令和6年8月4日(日) プラザ萬象(敦賀市)

令和6年8月18日(日) 市民プラザ武生(越前市)

令和7年3月9日(日) フェニックスプラザ(福井市)

2. 安全輸送対策の推進

(1) 道路交通事故の防止減少と安全対策の推進

バス業界として、死亡・重傷等重大事故の削減に向け、交通安全運動等の実施時期を捉え事故防止員会を開催し、重点実施事項等の確実な実施に向けた取組を強化し、広報関係としては、バスマスクによる一般への周知、FBC交通安全キャンペーン2024、福井テレビ2024ひよこ手帳キャンペーンへ協賛したPR活動に取り組んだ。

また、交通安全運動におけるバス事業の重点実施項目「高齢者との事故防止」の教材として、「高齢者の行動特性を知って交通事故を防ごう」を会員事業者の全運転手へ配布し指導教育の強化を図った。

バス停留所の安全確保対策として、危険なバス停に関わる安全性の向上に向け関係機関との連携により改善が進むよう、新たな支援メニュー等の周知に努めた。

安全対策の推進にあたっては、安全風土の構築はもとより運行管理者による対応が極めて重要であることから、運行管理に必要な法令、知識等を盛り込んだ2025手帳を会員事業者所属の運行管理者に配布し運行管理者への支援を行うとともに、新たに運行管理者となろうとする者に対する運行管理者試験対策の講習を開催し、運行管理者への対応を強化した。

(2) 健康起因事故の防止及び飲酒運転の根絶

道路運送法の改正により義務づけられた「疾病運転の防止」の徹底に向け、健康起因事故を引き起こす可能性のある傷病を早期に発見するための助成に眼科検診を追加し、会員事業者が実施する健康起因事故の防止の支援に努めた。

また、飲酒運転の防止については、「飲酒運転防止マニュアル」を活用した取組の徹底を進めるとともに、令和6年度の飲酒運転防止週間（令和6年9月21日～9月30日）における取組強化の一環として、運転士に直接届けるコンテンツ「飲酒運転7つの落とし穴」のトイレットペーパーを会員各社に配布し、飲酒運転根絶に向けた取組を強化した。

(3) 車内事故の防止

車内事故の防止に向けては、乗合バスにおける「ゆとり乗降」「ゆとり運転」の励行、貸切バス、高速バスでは発車時のシートベルト着用案内の徹底に努めるべく、7月1日から31日までの1ヶ月間を「車内事故防止キャンペーン」として設定して取り組みを強化した。また、「ゆとり乗降」「ゆとり運転」を実施する上で、乗務員によるアナウンス力の向上が不可欠であることに着目し、車内アナウンスコンテストを令和7年3月2日（日）に開催した。コンテスト参加は会員4事業者所属の10名の運転士が参加した。

(4) 危機管理対策の徹底及び大規模災害等への対応

テロや震災等危機管理対策を万全に期すため、各種通達等の周知はもとより、行政機関が主催する会議等への参画するとともに、大規模災害を想定した訓練（令和6年度は、大飯発電所での広域避難計画に基づく避難訓練）への対応を会員事業者の協力を得て進めた。併せて、令和6年1月の能登半島地震、6月の能登半島豪雨による災害ボランティア派遣を福井県の要請を受け、4月から12月までの8ヶ月間協会が窓口となり対応にあたった。

また、バスジャック事件等不測の事態への対応として、日本バス協会「バスジャック団体保険制度」の加入を継続した。

3. 人と環境にやさしいバス事業の推進

(1) 交通バリアフリー対策の推進

経営環境が厳しい中ではあるが、新たな整備目標の達成に向け、各種支援制度の活用に関する情報の共有化を積極的に進めた。

共生社会の実現に向けたバリアフリー教室については、令和6年9月21日（日）に福井市の田原まち駅広場で開催された「カーフリーデーふくい」での車いすによるバス乗車体験の実施。令和6年11月7日（木）坂井市兵庫小学校、令和6年11月8日（金）坂井市加戸小学校の4年生を対象としたバリアフリー教室を中部運輸局が開催したことに合わせ、車いすによるバス乗車体験を実施した。

また、障害者差別解消法の改正が施行され、令和6年4月1日から事業者による障害のある人に対する「合理的配慮の提供」が義務化されたことに伴い、バス協会において東京都が作成した「ヘルプマーク」の使用の許可を令和6年7月4日付けにて取得し、会員乗合事業者20社の乗合バス車両の優先席に「ヘルプマーク」ステッカーを掲示（貼付）することにより、障害のある人への合理的配慮の提供に取り組んだ。

（2）環境対策の推進

低炭素社会の実現に向けたCO2排出削減の取組として、11月の「エコドライブ強化月間」等を捉え、エコドライブの推進をはじめ環境対策の取組を進めた。

また、福井県が進める「地球温暖化ストップ県民運動 LOVE・アース・ふくい」や「カーセーブデー」、「福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進協議会」、更には「カーボンニュートラル福井コンソーシアム」に参画し、幅広い関係者との連携した取組を進めるとともに、バス業界における脱炭素に向けたEVバスに関する報告を行った。

4. 運輸事業振興助成交付金事業の適切な運営

（1）運輸事業振興助成交付金事業の実施

運輸事業振興助成交付金事業については、交付金運用特別委員会の審議を踏まえ、令和6年度事業計画に基づき、以下事業を実施した。

ア. 輸送の安全の確保に関する事業

講習会の開催や安全確保等に関する助成、各種交通安全活動等への参画等により安全輸送体制の強化に向け、8つの助成事業を含め12事業を行った。

イ. サービスの改善及び向上に関する事業

バス事業の活性化や利用者へのサービス向上のための事業として、7事業を行った。

ウ. 公害の防止、地球温暖化の防止その他環境保全に関する事業

低炭素社会の実現に向け、会員事業者への助成並びに広報活動とし2事業を行った。

エ. 適性化に関する事業

中部貸切バス適正化センターへの負担金の一部助成を行い、貸切バス事業の適性化に向けた事業を行った。

オ. 共同利用に供する施設の設置又は運営に関する事業

協会研修センターとしての施設並びに協会ホームページの維持・管理を行った。

(2) 融資斡旋事業特別基金の運用管理

令和6年度の融資斡旋事業特別基金の運用管理については、令和6年度に満期償還となる債券等はなく、新たな運用は行わず10年物国債と定期預金により管理した。

5. 労務問題への対応

労働管理に係る新たな課題等に関する情報収集を進め、会員事業者への周知に努めるとともに、職場環境改善に向けた取組の見える化をする「運転者職場環境良好度認証制度（「働きやすい職場認証制度」）」について、会員事業者における認証取得を促す取り組みを進めた。結果、7年3月31日現在、二ツ星認定が1事業者2営業所、一ツ星認定が4事業者7営業所となる。

また、バス乗務員に過度なストレスを与え、通常業務にも支障をきたし、更には安全輸送にも悪影響を及ぼしかねないカスタマーハラスメントに関して、日本バス協会が策定したマニュアルの活用含め対策を講じていくため、働き方改革支援センターから講師を招き、企業におけるカスタマーハラスメントに対する実践方法に関する講習会を12月期に福井地区、1月期に敦賀地区において開催した。併せて、日本バス協会が作成したカスタマーハラスメント防止啓発ポスターによる啓発に取り組んだ。なお、カスタマーハラスメントの講習会に関しては、福井地区に104名、敦賀地区に21名の運転者並びに管理者の参加があった。

6. 鉄道駅等交通結節点の周辺整備及び地方公共団体の各種計画等への対応

(1) 福井駅西口・東口バス乗り場等に対する対応

交通結節点としての機能強化が図られるよう、利便性の向上を含め関係機関等との連携を強化するとともに、福井市との協定に基づくバス乗降場の管理運営を適切に進め、県都の玄関口として相応しいバス乗降場の維持に努めた。

(2) 各種計画等への対応

各地域の再開発等各種計画に関する情報収集等に努め、具体的計画への必要な対応を図るとともに、とりわけバス乗り場に関する運用等に関する情報提供については、確実な情報提供が実施されるよう地方公共団体等に要請した。

7. その他

(1) 広報活動の推進等

協会ホームページにおいて「ばす・でんしゃネットふくい」のリアルタイムの維持管理を引き続き行うとともに、協会の活動状況等に関する情報を随時更新し、情報の発信に努めた。また、マスコミを活用し、バスの日の活動や人材確保のための運転体験会や会社説明会の開催等の活動に関する情報発信に取り組んだ。

(2) バス事業関係表彰

行政等の各種表彰への積極的な推薦を行い、会員事業所等の表彰の促進を図った。併せて、協会功労者表彰規則に基づく会長表彰を実施した。なお、受賞者は以下のとおり。

<自動車関係功労者国土交通大臣表彰>

永年勤続功労、自動車運送事業者従事者部門

京福バス株式会社 巻端 信男

<自動車関係功労者福井運輸支局長表彰>

永年勤続功労、運送事業運転者部門

敦賀観光バス株式会社 中上 千敏

// 田代 好雄

越前観光株式会社 吉田 政美

<福井運輸支局優良事業者等表彰：安全対策への貢献>

一般乗合・一般貸切の部 鯖江高速観光株式会社
ニュー交通観光株式会社
鯖江交通株式会社
一般貸切の部 勝山交通株式会社
オクエツ観光株式会社

<福井県バス協会功労者表彰>

福井県バス協会功労者表彰規則に基づく表彰を、令和7年2月26日（水）、福井商工会議所において実施した。受賞者は、会員事業者から推薦のあった事業功労1名、運転者功労としての優良運転士42名。会員別受賞者数は以下のとおり。

大和交通(株)	1名	(事業功労)	
京福バス(株)	3名、	福井鉄道(株)	2名
敦賀海陸運輸(株)	3名、	池田観光(株)	2名
越前観光(株)	10名、	小松タクシー(有)	1名
(株)金津相互タクシー	1名、	敦賀観光バス(株)	2名
鯖江交通(株)	4名、	トマト観光(株)	9名
(株)ワコーサービス	5名		

(3) 関係機関等との連携強化

• ICカード普及に向けた街頭広報活動

令和6年10月1日（火）福井県及びふくい路面電車とまちづくりの会（ROBA）との共同により、交通系ICカードの普及に向けた街頭広報活動（ビラ配り）を福井駅西口にて取り組んだ。

• 福井市との共同による乗り方教室の開催

令和6年4月12日（金）福井大学附属義務教育学校1年生62名、令和6年7月23日（火）社南児童クラブ2年生34名、令和6年8月26日（月）さくらんぼ児童館1～4年生30名を対象に、実際の乗車体験と座学による安全なバス利用方法及びマナーを身につける乗り方教室に取り組んだ。

• イベントとの連携による取り組み

令和6年8月3日（土）・4日（日）サンドーム福井において開催された「おもしろフェスタ」にて、福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議のブースに乗合バス車両を展示し、フェスタ来場者を対象とした乗合バスの乗り方教室を実施した。

令和6年9月22日(日) 田原町駅前広場において開催された「カーフリーデーふくい」に出展し、来場者を対象とした乗合バスの乗り方教室(バリアフリー教室としての車いすによる乗車体験も)を実施した。

令和6年10月6日(日) 福井新聞社が主催する「ふくまむ祭」に出展し、お絵描きバスを実施するとともに、ふくまむ際に合わせて発行されるふくまむ新聞に、現役女性ドライバーの紹介及び会員40社を紹介する記事を掲載し、バスのPR活動を展開した。なお、ふくまむ新聞については、県下の私立幼稚園・認定こども園、保育園等を中心に4万部発行された。なお、「ふくまむ祭」におけるお絵描きバスによるバスのPR活動については、バスの日の取組事業として実施したものの。

令和6年10月19日(土) 大野市で開催された産業と食彩フェアにおいて、ボンネットバスを出展し乗り方教室を始め、バスに親しむ取り組みを実施した。

・ 北陸三県バス協会連絡協議会の設立及び参画

令和7年2月28日(金) 北陸新幹線敦賀延伸開業を契機として、北陸三県バス協会相互の協力、連携を深めることを目的に「北陸三県バス協会連絡協議会」の発足会議及び第1回協議会が金沢市で開催され、正副会長並びに専務理事が出席し、三県が持ち回りにて協議会を開催することを確認した。

8. 庶務事項

- (1) 会 員 乗合事業者28社、貸切事業者40社 合計40社
- (2) 役 員 理事13名、監事2名
- (3) 事務局 3名(専務理事兼事務局長1名、事務職員2名)
- (4) 行政への申請、届出及び報告事項並びに検査等
 - ① 令和5年度運輸事業振興助成交付金事業完了報告 (福井県:4月)
交付金完了検査 (福井県:4月)
 - ② 公益社団法人 令和5年度事業報告 (福井県:6月)
 - ③ 令和6年度運輸事業振興助成交付金交付申請 (福井県:6月)
 - ④ 令和5年度運輸事業振興助成交付金事業完了報告 (中部運輸局:6月)
 - ⑤ 令和5年度運輸事業振興助成交付金事業計画及び資金計画
(中部運輸局:6月)
 - ⑥ 公益社団法人 令和7年度事業計画 (福井県:3月)
- (5) 専門委員会
 - ① 乗合委員会 委員長:吉川 幸文
 - ② 貸切委員会 委員長:岩本 裕夫
 - ③ 事故防止委員会 委員長:吉川 幸文
 - ④ 運輸事業振興助成交付金運用特別委員会 委員長:岩本 裕夫

9. 会議の開催

- (1) 総 会

第49回通常総会 令和6年6月5日(水) 「福井パレスホテル『羽衣の間』」
〔議題〕令和5年度事業報告(案)及び収支決算報告(案)の承認について
令和6年度事業計画及び収支予算について(報告)

(2) 理事会

通常理事会 令和6年5月15日(水) 「福井県自動車会館」
〔議題〕令和5年度事業報告(案)及び収支決算報告(案)について
福井県バス協会における補助金執行代行業務について
業務・情勢報告(令和5年4月～5月)(報告)
今後の予定(報告)

臨時理事会 令和6年6月5日(水) 「福井パレスホテル『飛鳥の間』」
〔議題〕第49回通常総会について

通常理事会 令和6年9月25日(水) 「福井県自動車会館」
〔議題〕要望(案)について
業務・情勢報告(令和6年6月～9月)(報告)
人材確保対策の取組結果(報告)
バス事業における特定技能制度(報告)
参議院比例代表選挙候補者に対する対応(報告)
今後の予定(報告)

通常理事会 令和6年12月3日(水) 「福井市地域交流プラザ」
〔議題〕公共交通における人材確保支援事業補助金実施要領の一部変更について
業務・情勢報告(令和6年10月～11月)(報告)
今後の予定(報告)
福井運輸支局長講演「令和7年度予算・概算要求等」

通常理事会 令和7年3月18日(火) 「福井県自動車会館」
〔議題〕令和6年度予算の変更について
令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
令和7年度融資斡旋事業特別基金の運用管理方針(案)について
福井県バス協会助成要綱の改正について
業務・情勢報告(令和6年12月～令和7年3月)(報告)
今後の予定(報告)

(3) 専門委員会等

① 正副会長会議

令和7年2月25日(火) 福井県自動車会館
・令和7年度予算方針
・新公益法人制度への対応
・各種表彰への推薦方針

② 貸切委員会

令和6年9月18日(水) 福井県自動車会館 ※事故防止委員会兼

- ・安全コスト算出方法等の対応（説明）
 - ・滋賀県にて開催される「国スポ・障スポ」への対応（協力要請）
- 貸切委員会研修 令和7年3月25日（火）

関西・大阪万博交通ターミナル等視察 会員21社、41名参加
〔貸切専門部会〕

令和6年7月3日（水） グランディア芳泉

- ・令和5年度活動報告
- ・珠洲市へのボランティアバスの運行状況
- ・第47回全国育樹祭への対応
- ・ふくい桜マラソン2025への対応

令和6年8月6日（火） 福井県自動車会館

- ・第47回全国育樹祭への対応
- ・令和6年度福井県原子力総合防災訓練への対応
- ・ふくい桜マラソン2025への対応

令和6年11月18日（水） 福井県自動車会館

- ・ふくい桜マラソン2025への対応
- ・貸切バス繁忙期カレンダー（仮称）の作成

令和7年1月20日（月） 福井県自動車会館

- ・ふくい桜マラソン2025への対応

③ 事故防止員会

令和6年4月5日（金） 福井県自動車会館

- ・最近の貸切バスの情勢・安全性の強化について
- ・令和6年春の全国交通安全運動の実施について

令和6年7月4日（木） 福井県自動車会館

- ・車内事故防止キャンペーンの実施について
- ・令和6年夏の交通安全県民運動について

令和6年9月18日（水） 福井県自動車会館 ※事故防止委員会兼

- ・令和6年秋の全国交通安全運動の実施について
- ・令和6年飲酒運転防止週間の実施について

令和6年12月9日（月） 福井県自動車会館

- ・福井運輸支局講和「中部運輸局管内の事故統計と事故防止の取組について」
- ・令和6年度年末年始の輸送等に関する安全総点検の実施について
- ・令和6年年末の交通安全県民運動について

④ 交付金運用特別委員会

令和7年3月2日（月） 福井県自動車会館

- ・令和7年度交付金事業の事業計画（案）及び収支予算（案）について
- ・令和7年度融資斡旋事業特別基金の運用管理方針（案）について
- ・福井県バス協会助成要綱の改正（案）等について

- ・日本バス協会の令和7年度の中央事業の実施について
- ⑤ バスの日・人材確保対策実行委員会
 - [バスの日部会]
 - 令和6年5月1日(水) 書面開催
 - ・令和6年度バスの日PR事業について
 - [人材確保対策部会]
 - 令和6年4月10日(水) 書面開催
 - ・令和6年度の人材確保対策の取組について
 - 令和6年6月27日(木) 書面開催
 - ・女性限定の運転体験・会社説明会について
 - 令和7年1月20日(月) 福井県自動車会館
 - ・令和7年度の人材確保対策の取組について

10. 各種団体等への参画及び関係機関会議等への参加

(1) 参画団体等

- ・バス交通懇話会
- ・日本中国友好協会
- ・福井県高速道路交通安全協議会
- ・福井県環境・エネルギー懇話会
- ・北陸広域観光推進協議会
- ・福井県道路協会
- ・福井県暴力追放センター
- ・丹南広域公共交通機関活性化協議会
- ・越美北線と乗合バスに乘る運動を進める会
- ・歴史のみえるまちづくり協会
- ・福井市観光協会

(2) 関係機関会議等

- ・中部ブロック事業用自動車安全対策会議(中部運輸局)
- ・中部バス事業人材確保・育成対策会議(中部運輸局)
- ・乗合バス防災担当者連絡会(中部運輸局)
- ・訪日外国人旅行者の受入に向けた中部ブロック連絡会(中部運輸局)
- ・訪日外国人旅行者の受入に向けた北陸信越ブロック連絡会(北陸信越運輸局)
- ・福井県バス停留所安全性確保合同検討会(中部運輸局福井運輸支局)
- ・福井県道路交通環境安全推進連絡会議(福井河川国道事務所)
- ・福井県災害交通マネジメント検討会(福井河川国道事務所)
- ・福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議(福井県)
- ・福井県交通対策協議会(福井県)

- ・福井県雪害予防対策協議会（福井県）
- ・福井県不正軽油撲滅対策協議会（福井県）
- ・カーボンニュートラル福井コンソーシアム（福井県）
- ・福井県並行在来線利用促進協議会（福井県）
- ・「FIRST291～北陸新幹線開業プラン～」連絡会議（福井県）
- ・新モビリティサービス検討会（福井県）
- ・日本スポーツマスターズ 2023 福井大会実行委員会（福井県）
- ・ワールドマスターズゲーム関西 2021 関西福井県実行委員会（福井県）
- ・ふくい桜マラソン実行員会（福井県）
- ・第 47 回全国育樹祭福井実行委員会（福井県）
- ・福井県国民保護協議会（福井県）
- ・福井県の観光営業推進に関する会議（福井県）
- ・福井県福祉のまちづくり推進協議会（福井県）
- ・福井県障害者差別解消支援地域協議会（福井県）
- ・福井県図柄入りナンバープレート寄付金活用協議会（福井県）
- ・地域公共交通会議・地域公共交通活性化協議会（福井県及び県下 15 自治体）
- ・福井市国民保護協議会（福井市）
- ・観光おもてなし市民運動推進会議（福井市）
- ・えちぜん鉄道活性化連携協議会（福井市）
- ・福井鉄道福武線活性化連絡協議会（福井市）
- ・日本バス協会 総会・理事会・委員会
- ・中部バス協会 総会・専務理事会・委員会
- ・中部貸切バス適正化センター 理事会・評議委員会
- ・福井県自動車会議所 総会・理事会

正味財産増減計算書

令和6年 4月 1日から令和7年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	59,030	59,078	△48
特定資産受取利息	59,030	59,078	△48
受取入会金	0	0	0
受取入会金	0	0	0
受取会費	18,021,660	18,627,960	△606,300
正会員受取会費	18,021,660	18,627,960	△606,300
受取補助金等	20,418,000	19,483,000	935,000
事業助成金収益	7,350,000	5,667,000	1,683,000
受取助成交付金	13,068,000	13,816,000	△748,000
雑収益	35,634	26,926,086	△26,890,452
受取利息	684	20	664
雑収益	34,950	24,840	10,110
業務受託事業収益	0	26,901,226	△26,901,226
建物設備収益	0	6,023,771	△6,023,771
経常収益計	38,534,324	71,119,895	△32,585,571
(2) 経常費用			
事業費	43,001,235	65,450,596	△22,449,361
役員報酬	5,260,500	5,424,300	△163,800
給料手当	3,146,310	2,844,450	301,860
臨時雇賃金	1,069,150	1,034,977	34,173
退職給付費用	388,800	388,800	0
福利厚生費	1,547,625	1,389,374	158,251
旅費交通費	582,245	458,774	123,471
通信運搬費	349,973	431,973	△82,000
消耗什器備品費	1,032,242	586,458	445,784
図書資料費	200,000	3,404	196,596
会議費	186,581	189,757	△3,176
印刷製本費	223,704	61,047	162,657
会館維持費	373,869	372,456	1,413
減価償却費	3,667,552	943,635	2,723,917
賃借料	84,322	163,522	△79,200
環境対策費	471,100	421,900	49,200
適正化事業	745,000	666,000	79,000
融資斡旋利子補給	0	0	0
業務受託事業費	0	26,901,226	△26,901,226
受取補助金助成費	5,705,000	0	5,705,000
支払負担金	4,242,140	4,184,066	58,074
体験車両維持費	0	20,900	△20,900
拠出金	0	0	0
バス活性化対策費	1,873,217	1,211,690	661,527
災害対策安全対策費	7,541,714	7,072,598	469,116
共同施設整備運営費	316,018	501,519	△185,501
輸送サービス改善事業費	3,994,173	4,153,999	△159,826
建物設備費	0	6,023,771	△6,023,771

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	2,509,880	2,429,037	80,843
役員報酬	584,500	602,700	△18,200
給料手当	349,590	316,050	33,540
退職給付費用	43,200	43,200	0
福利厚生費	171,957	154,374	17,583
旅費交通費	64,693	50,974	13,719
通信運搬費運般費	38,885	47,996	△9,111
減価償却費	267,589	68,849	198,740
消耗什器備品費	114,693	65,162	49,531
会議費	358,979	365,089	△6,110
印刷製本費	24,856	6,783	18,073
会館維持費	41,541	41,384	157
交際費	5,000	94,800	△89,800
賃借料	9,369	18,169	△8,800
租税公課	190,880	56,190	134,690
支払負担金	123,500	123,500	0
有価証券運用損	0	0	0
固定資産取得支出	0	171,990	△171,990
雑費	120,648	201,827	△81,179
経常費用計	45,511,115	67,879,633	△22,368,518
評価損益等調整前当期経常増減額	△6,976,791	3,240,262	△10,217,053
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△6,976,791	3,240,262	△10,217,053
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△6,976,791	3,240,262	△10,217,053
一般正味財産期首残高	77,413,370	74,173,108	3,240,262
一般正味財産期末残高	70,436,579	77,413,370	△6,976,791
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	70,436,579	77,413,370	△6,976,791

貸借対照表

令和7年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,028,552	7,156,672	△4,128,120
未収金	0	0	0
流動資産合計	3,028,552	7,156,672	△4,128,120
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
有価証券	59,000,000	59,000,000	0
定期預金	4,000,000	3,000,000	1,000,000
リサイクル預託金	47,080	47,080	0
特定資産合計	63,047,080	62,047,080	1,000,000
(3) その他固定資産			
建物	819,137	6,640,556	△5,821,419
建物付属設備	1	1	0
構築物	3	3	0
建物修繕	5,541,871	0	5,541,871
体験車両	1	3,655,594	△3,655,593
電話加入権	10,300	10,300	0
その他固定資産合計	6,371,313	10,306,454	△3,935,141
固定資産合計	69,418,393	72,353,534	△2,935,141
資産合計	72,446,945	79,510,206	△7,063,261
II 負債の部			
1. 流動負債			
借入金	0	0	0
未払金	0	0	0
預り金	2,010,366	2,096,836	△86,470
流動負債合計	2,010,366	2,096,836	△86,470
負債合計	2,010,366	2,096,836	△86,470
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	70,436,579	77,413,370	△6,976,791
正味財産合計	70,436,579	77,413,370	△6,976,791
負債及び正味財産合計	72,446,945	79,510,206	△7,063,261

財産目録

令和7年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	34,383	
	預金	当座預金		2,291,421	
		福井銀行花堂支店		2,291,421	
		普通預金		702,748	
		福井銀行花堂支店		0	
	預金(特定資産)	福井銀行本店		501,748	
		福井銀行花堂支店積立金	空調設備取換資金準備金	201,000	
	未収金			0	
交付金会計			0		
会費等未納			0		
交付金			0		
流動資産合計				3,028,552	
(固定資産)	特定資産	有価証券	融資融資幹旋	59,000,000	
		定期預金	利子補給金	4,000,000	
	その他固定資産	リサイクル預託金		体験車両売買に伴うリサイクル料	47,080
		建物			819,137
		建物付属設備			1
		構築物			3
		建物修繕			5,541,871
		体験車両			1
		電話加入権			10,300
		固定資産合計			
資産合計				72,446,945	
(流動負債)	借入金			0	
	未払金			0	
	交付金事業			0	
	預り金			2,010,366	
	一般			2,010,366	
流動負債合計				2,010,366	
負債合計				2,010,366	
正味財産				70,436,579	